



光る知性 豊かな心 強い意志

南 中 生

長井市立長井南中学校
令和 8年 7月 16日
校長 柿 崎 円

【学校研究テーマ】

自ら問いを持ち、主体的に課題を解決する生徒の育成 ～仲間とのコミュニケーションを通して～



7月8日（水）に授業研究会（2年4組「英語」・1年4組「理科」）を実施しました。早稲田大学名誉教授 小林宏己先生と置賜教育事務所、市教育委員会の指導主事の先生にご助言をいただきました。

今年度の学校研究テーマは「自ら問いを持ち、主体的に課題を解決する生徒の育成～仲間とのコミュニケーションを通して～」です。「わかった！」「できた！」という成就感や達成感を味わい、学び続ける意欲や学力向上につなげるため、「なぜ？」を生み出す課題設定の工夫と振り返りの時間に力を入れた授業づくりに取り組んでいます。

現代社会は変化が著しく、予測困難な時代です。人生100年時代を生きる子ども達が変化の波をしなやかに生き抜くためには、強い関心や意志を原動力とした知恵

を駆使しながら、他者と関わり、目の前の困難を粘り強く乗り越えていく力が必要です。校内研究会は年2回ですが、日ごろから授業での子ども達の学びの姿を語り合い、つけたい力の明確化を図っていきます。

また、教科で身についた力が日常生活や他教科でどのように生かされるかを想定して単元構想を考え、自分事で学ぶストーリーができているか、より学びたくなる動機づけとなるには？を教師自身が問いながら授業改善を行っていきます。





学校 家庭 地域と共に子どもを育てる協働の学校をめざして 第1回 学校運営協議会

本校では、地域の皆様と共によりよい学校づくりを進めるために、学校運営協議会を年に2回開催しています。過日行った学校運営協議会では、今年度の学校経営の方針をご承認いただき、その後、学校課題の解決に向けて熟議を行いました。今回

は「地域みんなで 子ども達の成長を支えるために できることは何か」のテーマで、「子ども達のよりよい教育のために教師の【働き方改革】令和7年給特法等改正について」「教師が教えることに専念し、地域全体で子どもをそだてる【チーム学校】について」「学校・家庭・地域がそれぞれの役割において進めることについて」の話題提供に対し、多くのご意見を頂戴しました。子どものため、学校のためにお力添えをいただいていることに感謝いたします。



自分の命を守る力を育てよう 熱中症予防 自分でできること

今年の夏も暑くなる予報です。本校では、熱中症対策として、グラウンドに設置した WBGT 指数測定器で30分毎に計測と記録を行い、屋外での活動の目安としています。計測結果は職員室前のホワイトボードに記入し「見える化」を図っています。

項目	温度(℃)	湿度(%)	WBGT(℃)
現在値	31.7	31.4	32.8
熱中症警戒アラート 高			



部活動時は、活動前に健康観察と水分補給を行い、WBGTにより活動内容を吟味。活動中は30分おきに WBGT を計測し、休憩や水分補給を入れて活動します。活動後は健康観察で健康状態を確認した後に下校するようにしています。

環境を整えることに加え、「自分の命を守る力」を育てることも大切です。生活リズムを整える、バランスを考えた食事をする、気候や体調に合わせた衣服の調節を行うなど、自分で予防できることもたくさんあります。

「水分補給」と言うとスポーツドリンクや麦茶などの飲み物を飲むことと思いがちですが、1日の水分は食事から半分、飲み物から半分とるとよいそうです。食事を抜くと、1日に必要な水分量が不足し、熱中症になるリスクが高まります。朝食をしっかりと食べることは大事な熱中症予防になります。（「給食ニュース」R7.5.8号引用）

子ども達に「自分の命を守る力」を育てるため、ご家庭のお声がけとご協力をよろしくお願いいたします。

食事から水分を補給するメリット

- ・自然に無理なく水分をとることができる
- ・水分が体内にゆっくり吸収されるため、尿意をもよおしにくく、体内に保持されやすい
- ・水分と同時に色々な栄養素がとれ、エネルギーも補給できる

